

社会資本総合整備計画

平成25年 3月21日

計画の名称	7 折尾駅周辺地区における魅力あるまちづくりを支援するための道づくり		
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度 (5年間)	交付対象	北九州市
計画の目標	鉄道連続立体交差事業に伴い、街路の4車線化や駅南側の土地区画整理を実施することで、J R折尾駅周辺地域の快適かつ利便性を高め、魅力あるまちづくりを支援する。		

計画の成果目標（定量的指標）

交通渋滞の解消及び交通結節機能の強化、さらには、北九州市の西部地域の都市拠点として魅力あるまちづくりに向け、区画整理事業と並行しながら、鉄道の立体交差化、街路事業の4車線化及び北口駅前広場の整備を一体的にすることで、快適かつ利便性の高い市民生活を確保することが期待される。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値	備考	
H26末筑豊本線立高架化・完了により始めて効果が発現することから、H31末の完成に向けた事業の進捗率を評価指標とした。  $(\text{事業進捗率}) = \{ (\sum \text{年度別事業費}) / (\text{全体事業費}) \}$ 連続立体化に伴う踏切除去で(H27年度)、一日あたりの踏切自動車・歩行者交通遮断量が削減される割合。  $(\text{削減率}) = \{ 1 - (\text{事業後踏切自動車・歩行者交通量}) / (\text{現況踏切自動車・歩行者交通量}) \}$ 駅周辺街路及び駅前広場整備によるJ R折尾駅と周辺主要4交差点との移動利便性向上を平均旅行速度の向上により表現する。 (H25年度) 折尾四丁目交差点の改良 (H27年度) 駅前広場の整備	当初現況値 (H22現況) (H21当初) 中間目標値 (H24末) (H23末) 最終目標値 (H27末) (H25末)  短絡線高架化 進捗率 39% (H25末) 進捗率 55% (H27末)  181,393人台・時間/日 (H21当初) 181,393人台・時間/日 (H25末) 57,646人台・時間/日 (H27末)  削減率 0% (H21当初) 34.5分/10.8km (H25末) 18.8km/h (H27末) 19.3km/h (H27末) 20.9km/h (H27末)	踏切自動車・歩行者等交通遮断量 18.1万人台・時/日 (H21当初) H26末筑豊本線高架化・完了 H28末鹿児島本線高架化・完了 H31末完成	
	全体事業費 合計 (A+B+C) 8,438百万円 A 8,438百万円 B 0百万円 C 0百万円	効果促進事業費の割合 $(A / ((A+B)+C)) / ((A+B)+C)$	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
7-A1	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	日吉台光明線	道路改築 L=1.5km	北九州市						4,451	
7-A2	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	乙丸折尾線	道路改築 L=0.5km	北九州市						892	
7-A3	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	日吉台光明線 (駅前広場)	駅前広場整備 A=9800㎡	北九州市						1,340	
7-A4	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	折尾地区 ( (都) 折尾東西線外)	土地区画整理 A=16.9ha	北九州市						1,633	
7-A5	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	折尾地区 ( (都) 折尾駅南口線)	土地区画整理 A=16.9ha	北九州市						122	
合計													8,438		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
合計															

番号 一体的に実施することにより期待される効果

7-B1

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H21	H22	H23	H24	H25		
合計															

番号 一体的に実施することにより期待される効果

7-C1

その他関連する事業

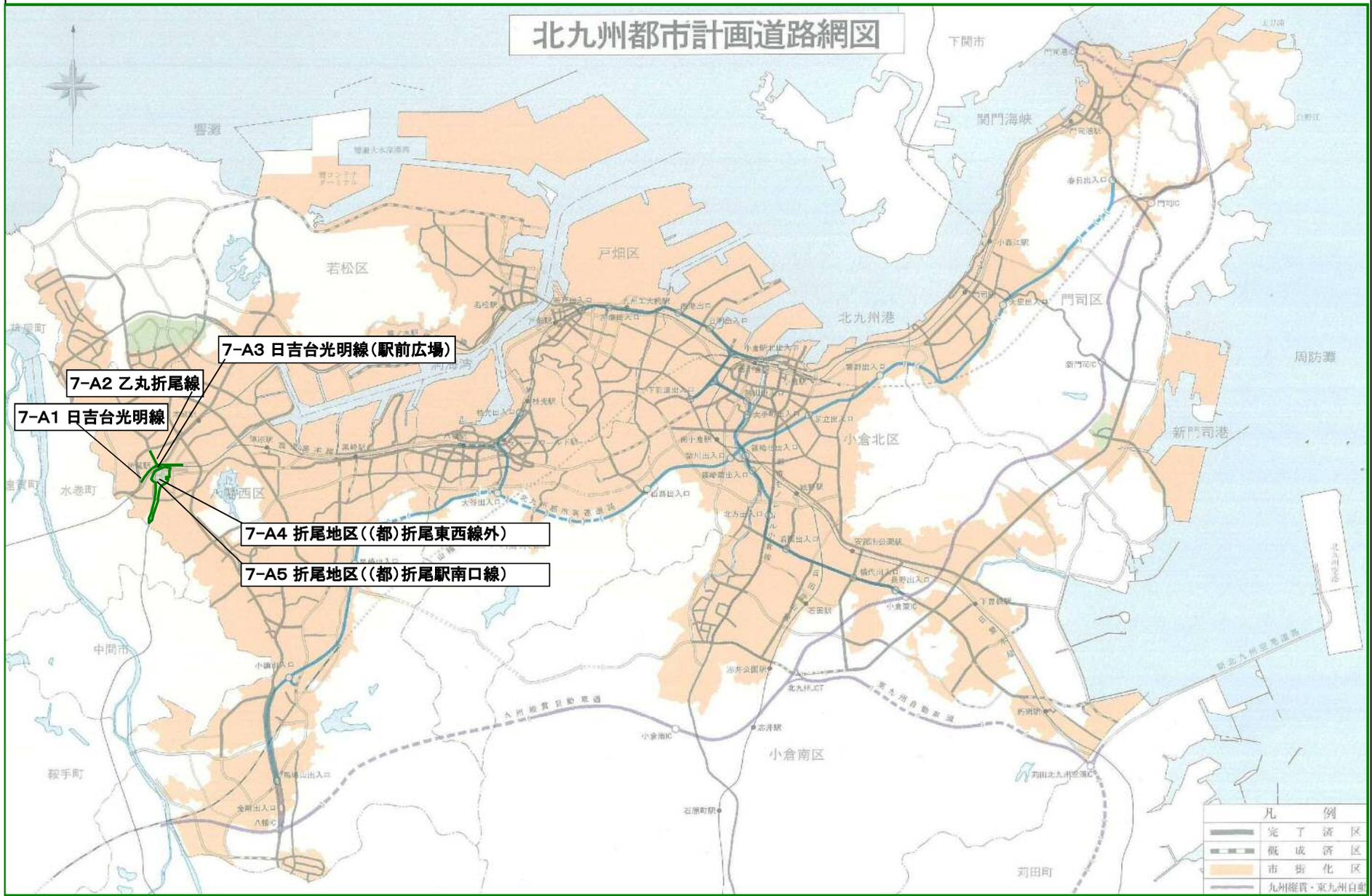
計画等の名称	折尾駅周辺地区における連続立体交差事業の推進による活力あるまちづくり													
事業種別	交付対象	地域種別	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H21	H22	H23	H24	H25		
4-A1	街路	北九州市			折尾駅周辺 (JR筑豊本線・鹿児島本線)		北九州市						1,940	国土交通省・国交省
4-A2	街路	北九州市			折尾駅周辺 (JR筑豊本線・鹿児島本線)		北九州市						10,760	国土交通省・国交省
合計														

A'	12,700 百万円 (うち提案事業分 0百万円)	B'	0	C'	0	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	0.0%
----	---------------------------	----	---	----	---	---------------------------------------	------

(様式第8)

# 社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	7 折尾駅周辺地区における魅力あるまちづくりを支援するための道づくり	
計画の期間	平成21年度～平成25年度(5年間)	交付団体 北九州市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:折尾駅周辺地区における魅力あるまちづくりを支援するための道づくり

事業主体名:北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○